

北九州市営バス事業のあり方検討会議 交通体系検討部会 資料（第2回）

< 目 次 >

1. 第1回検討部会での構成員からのご意見
2. 地域公共交通を維持するための市営バスの今後の取組について

令和元年11月14日
北九州市交通局

1 第1回交通体系検討部会での構成員からのご意見

福祉優待乗車証について

- 福祉優待乗車証制度は、交通局の負担が大きいのではないか。他の交通手段の状況も踏まえ、制度のあり方について、検討する必要があるのではないか。
- 福祉優待乗車証の利用区域の障害者の外出率が高い等の指標があれば、福祉優待乗車証が障害者の健康増進に寄与しているなど、その施策について考えるよい判断材料になるのではないか。

バス車両について

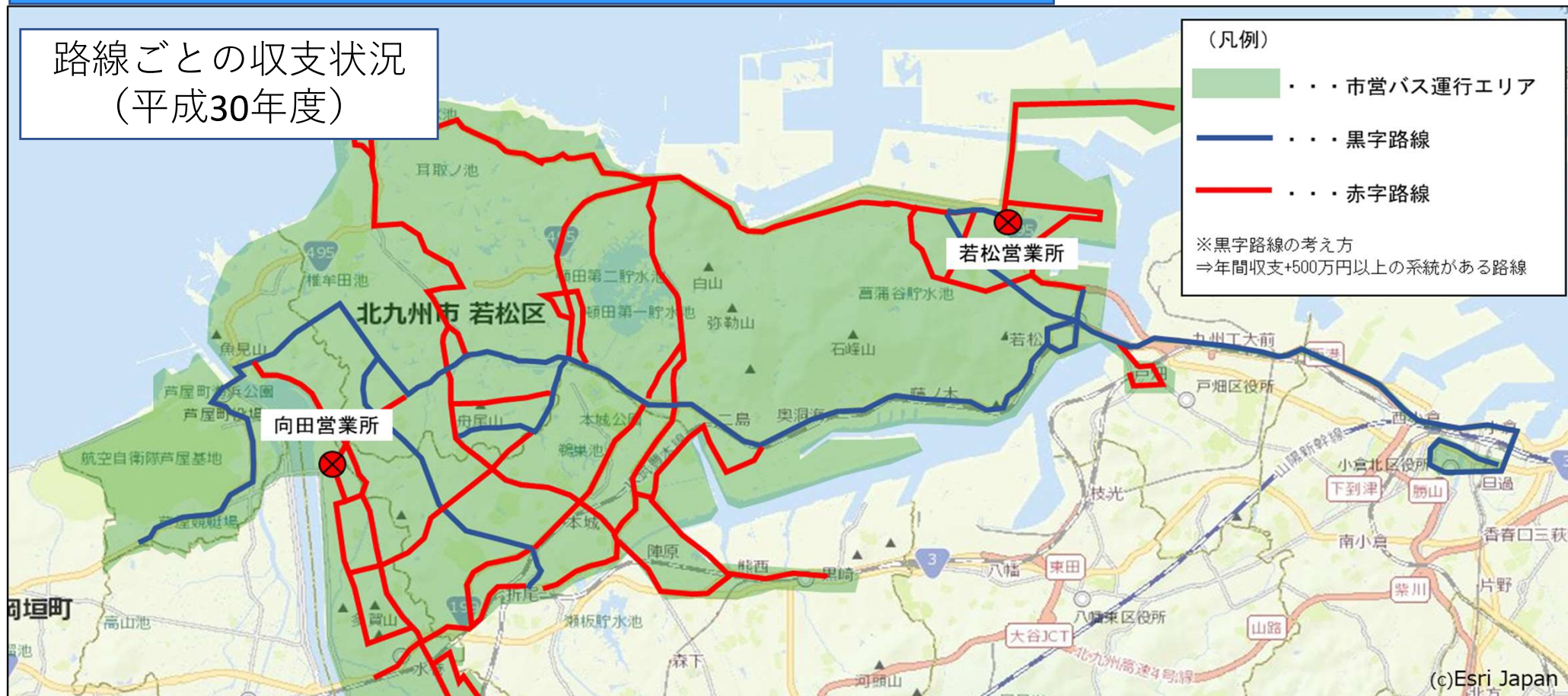
- 車両の小型化（10人乗り車両）は、普通二種免許でよいため、運転者の確保の間口を広げる点において有効である。
- 車両更新において、経費を抑制するためには、新車だけではなく、中古車両の導入も必要である。

バスの運行について

- 利用者としては、渋滞で遅れるのは仕方ないが、いつ来るのか分からないため、苦情になるということがあるため、費用ができるだけかからない簡易型のバスロケーションシステムが有効である。
- 運転者不足の状況では、運転者の労働条件を確保するため、ダイヤの効率化は必要であり、将来の地域交通を維持するためには、おでかけ交通やICTの活用も考える必要がある。

【参考】市営バス路線の収支状況

路線ごとの収支状況
(平成30年度)



(凡例)
■ . . . 市営バス運行エリア
— . . . 黒字路線
— . . . 赤字路線
 ※黒字路線の考え方
 ⇒年間収支+500万円以上の系統がある路線

(平成30年度末時点の黒字路線)

- ・全系統数：100系統
- ・黒字系統：10系統 (※)

※黒字系統の30系統のうち、
年間収支が+500万円以上の系統

主な黒字系統

起 点	主な経由地	終 点
北九州市役所	若松区役所前・上原町	若松営業所
	二島駅・島郷	本城陸上競技場
	二島駅・学研都市ひびきの	学研大通り西
	二島駅・青葉台入口	折尾駅
折尾 駅	青葉台・二島駅	産医大若松病院
	高須・サイエンスパーク	青葉台入口
	青葉台・花野路・芦屋町	鶴松団地
	高須・青葉台・芦屋町	第二栗屋

2 地域公共交通を維持するための市営バスの今後の取組について

市営バスは、公営交通事業者として、独立採算制を維持しつつ、持続可能な交通サービスを提供し、「市民の足」を確保するため、下記の取組を検討している。

1 安全で安定した交通サービスの提供

将来にわたって、安全に安定した交通サービスを提供し続けていくために、人材の確保・育成や老朽化した車両の計画的な更新など適切な運行体制を保持していく必要がある。

また、運行にあたっては、経営的視点に立ち、効率性を求める必要がある。

2 利用者サービスの充実

多くの地域の方に便利、快適にバスをご利用していただくため、サービスの充実に取り組む。

3 経営基盤の強化

将来にわたり、安定した事業経営を行っていくためには、経営基盤の強化が必要である。

そのため、事業収入の根幹である乗合収入を確保するとともに、貸切・受託事業等の附帯事業収入の増収を図り、収益性の向上を図る。また、事務の効率化とコスト削減に努める。

1 安全で安定した交通サービスの提供

【運転者の確保・育成】

- ・ 大型二種免許取得支援制度の継続・周知
- ・ 効果的な募集媒体の活用
- ・ 普通二種免許所持者の採用 等

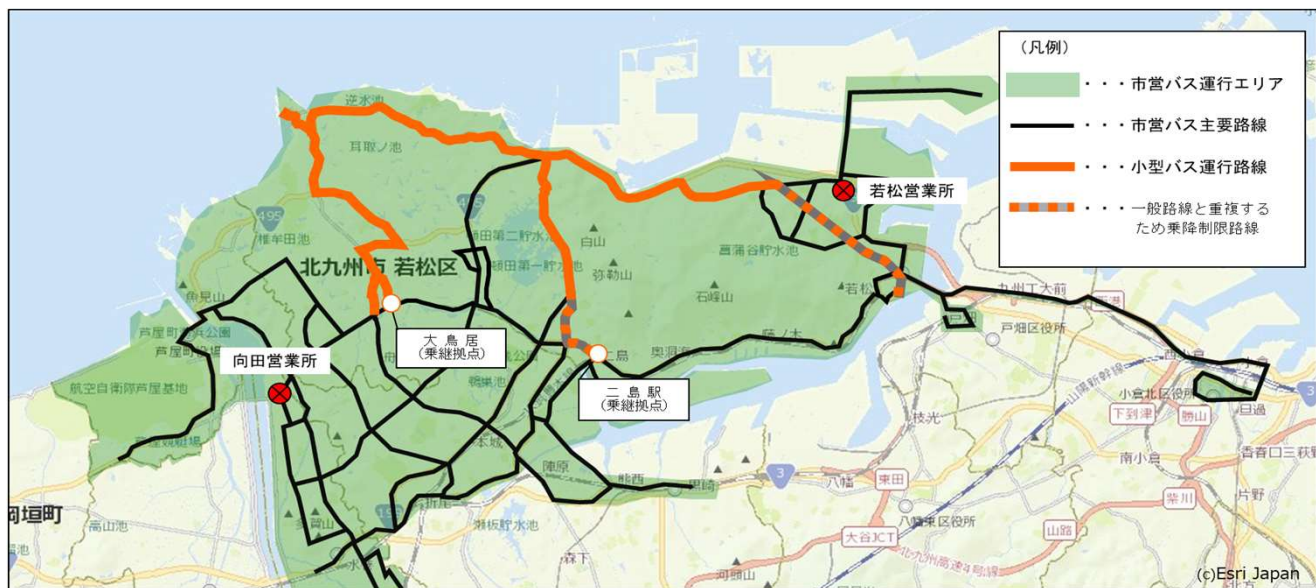
【安定的な車両整備】

- ・ 必要車両数を確保しながら経費の抑制を図るため、中古バス車両の活用

【効率的な運行】

- ・ 利用状況に応じた効率的なダイヤ編成
- ・ 利用状況に応じた10人乗り車両の活用

【イメージ図】



2 利用者サービスの充実

【便利で利用しやすいサービスの提供】

- ・ 運行中のバスの位置情報や運行情報等をスマートフォンアプリ等で検索できるバスロケーションシステムの導入
- ・ 営業所や案内所で販売している「1日乗車券」等の乗車券をスマートフォンアプリから購入可能にする電子乗車券（アプリ乗車券）の導入

【快適な環境の提供】

- ・ バス待合環境の整備

3 経営基盤の強化

【営業力の強化】

- ・ 貸切・受託事業の営業強化
- ・ 広告事業の営業強化

【制度の検討】

- ・ 福祉優待乗車証制度のあり方の検討